

(配布先)
支店長・副支店長
施工担当部署長・建設所長
副部長・副所長・統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任
関西支店取引業者災害防止協議会

事務連(2024-34)
令和6年10月29日

関西支店 安全環境部長

建屋内の計画開口における吊荷の落下事故撲滅について（指示）

先日、他支店の大型建設所において、逆打ちの地下4階の鉄骨建方作業中、計画開口（約10m×5m）を利用して、1階から約24m吊り降ろそうとしていた鉄骨（H鋼250×125×5×8、1.4～1.6m、8本、約400kg）の介錯ロープが、1階床の差筋に引っ掛かったため、鉄骨が玉掛けワイヤーから外れて約18m落下し、下部の立ち入り禁止措置（トラロープ+表示）内で鉄骨の仕分け作業をしていた鉄骨工に激突するという休業災害が発生しました。被災者は幸いにも一命を取留めましたが、各所を骨折する重傷となりました。（別紙参照）

つきましては、同種災害の撲滅に向けて計画開口の総点検を実施し、下記事項を作業所関係者に周知徹底するよう指示します。

記

1. 吊荷直下への立ち入り禁止（玉掛者・合図者を含む）を徹底すること。
2. 玉掛者・合図者は、人払いを徹底すること。
3. 揚重中の吊荷が障害物等に接触しないように、十分な人員を配置し、常時監視できる体制を構築すること。
4. パトランプや電子ホイッスル等の安全装置を活用し、吊荷直下の人払いを実施すること。
5. 計画開口の周囲は、吊荷が引っ掛からない形状（床差筋はリレージョイントやカバー措置）とすること。
6. 計画開口の下部立ち入り禁止措置は、四周を区画し表示を行うこと。

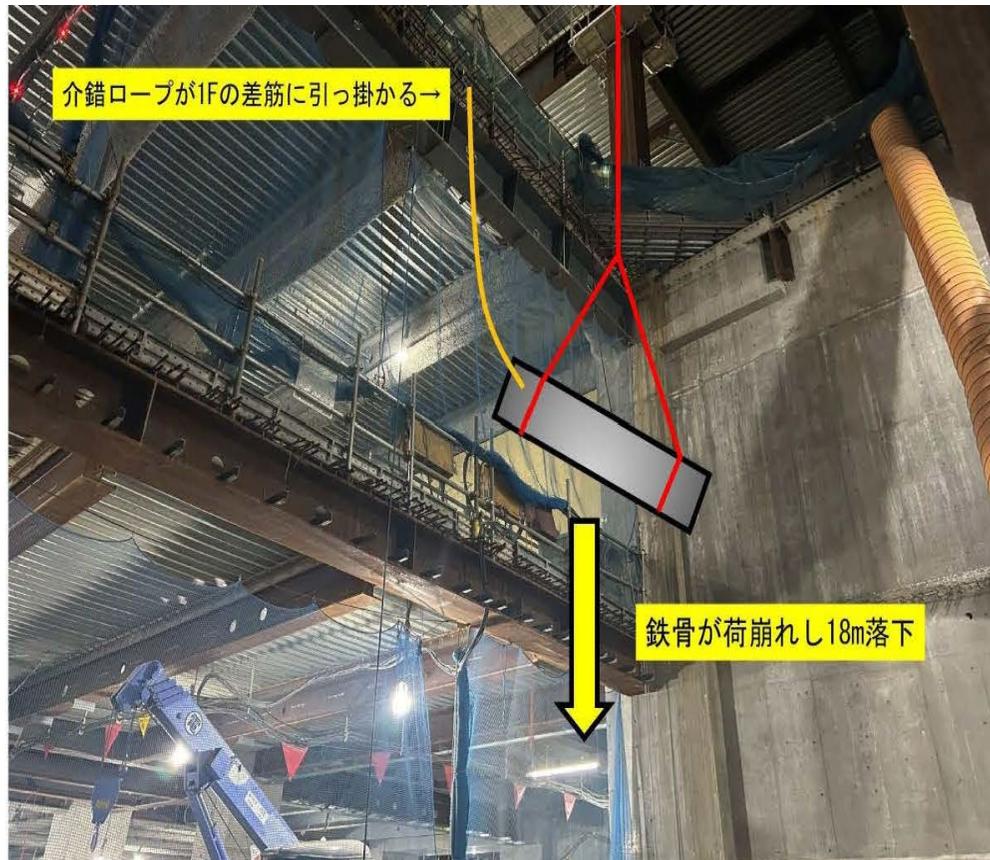
※この事務連絡は、示達本（安環安）24-26（令和6年10月28日）安全環境本部発行に基づき作成しました。

以 上

(飛来・落下) 鉄骨材荷降ろし作業中に鉄骨材が落下し、下部にいた鉄骨工に激突

◇ 発生日時：2024年10月19日（土）午前9:25分頃

◇ 被災者： 鉄骨工 28歳（所属4次）経験10年5ヶ月



【発生状況】

B4F鉄骨建方作業において、1Fから-24mのレベルコン上へ鉄骨荷降ろし中、玉掛けした孫梁8本（H鋼250×125×5×8、1.4～1.6m、約400kg）の介錯ロープが、1F仮設開口の床差筋に引っ掛かったまま荷降ろししたため、荷崩れしてB1Fレベルから約18m落下して、下部で建方合番していた鉄骨工に激突した。

（左腸骨解放骨折、左大腿骨下部解放骨折、左尺骨骨折、左橈骨骨折）（休業見込日数 180 日）